第1章　事業の概要

1 趣　旨

(1) 事業目的

令和４年度「東南アジア青年の船」青年会議は、日本国と東南アジア諸国連合（以下「ASEAN」という。）10か国の青年交流を絶え間なく継続させるため、ASEAN10か国及び日本の青年がオンラインを活用した交流活動等を行うことにより、青年相互の友好と理解の促進、青年の国際的視野の拡大、国際協調精神のかん養及び国際協調における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる次世代リーダーを育成することを目的とする。また、青年達が、世界が抱える社会課題を自分のこととして捉え、その課題解決のために自ら行動を起こす力を身につけることを目指す。

(2) 事業内容

本会議はオンライン方式で実施することとし、これまで実施してきたSSEAYPの特徴を生かしながら、ディスカッション活動を中心として、ピア・ラーニングセッション、交流セッション、地方プログラム等のプログラムを実施する。

ディスカッション活動は、「日本ASEAN友好協力50周年を迎える新たな協力の時代に青年ができること」をテーマとし、今後さらなる関係発展が見込まれる我が国とASEANとの間の共通課題や、将来的により一層協力していくことのできる分野等について、青年として何ができるか、どう行動に移すべきか、９つの分野（①教育、②災害と防災、③起業（NGO/NPO含む）、④健康とウェルビーイング（メンタルヘルス含む）、⑤情報とメディア、⑥日本及びASEANの経済、⑦貧困と格差、⑧環境保護、⑨ソフトパワーと青年の民間外交）ごとにディスカッションを行う。この９つのグループは、それぞれの専門家でもあるファシリテーターによって運営される。

2 日　程

事項	日程
関係各国連絡会議	令和４年６月１日（水）
日本参加青年選考試験	令和４年８月14日（日）及び16日（火）
ファシリテーター会議	令和４年９月14日（水）、10月12日（水）、11月13日（日）、20日（日）、27日（日）、12月４日（日）、11日（日）、18日（日）
日本参加青年事前研修	令和４年10月23日（日）、30日（日）
「東南アジア青年の船」青年会議	令和４年11月13日（日）、20日（日）、27日（日）、12月４日（日）、11日（日）、18日（日）
日本参加青年事後研修	令和５年１月８日（日）

3 参加青年（PY）

参加青年（PY）は、次の資格要件を備える応募者の中から、各国政府が選考する。

(1) 人数

９分野各国各３名程度（１か国全27名程度）
11か国合計300名程度

(2) 資格要件

a. 各国政府が指定した令和４年４月１日から６月30日の特定の日付時点で、おおむね18歳以上30歳以下の者
b. ASEAN各国と日本との青年交流に対する関心がある者
c. ディスカッション活動を円滑に行うことができる英語力を有する者
d. 過去SSEAYPに参加したことがない者

※ 本会議参加者も、来年度以降のSSEAYPに参加可。
※ 令和２年度または３年度にオンライン事業に参加した者の応募は可能だが、選考は新規応募者を優先。

4 ファシリテーター会議

本会議におけるディスカッションの目的などについて、ファシリテーターに共通認識をもってもらうとともに、その運営方法等について協議、情報交換等を行うことにより、ディスカッションの円滑かつ効果的な実施に資するため、ファシリテーター９名とオンラインにて、「東南アジア青年の船」青年会議ファシリテーター会議を開催した。

【ファシリテーター会議協議事項】

第１回　（令和４年９月14日（水））
(1) 令和４年度「東南アジア青年の船」青年会議概要と日程
(2) 各分野に係る基礎情報についてのファシリテーターからの提案及び意見交換
(3) 成果報告会の進め方
(4) PYへの事前課題

第２回（令和４年10月12日（水））
(1) ファシリテーターから準備状況共有

第３回（令和４年11月13日（日））
(1) グループ・ディスカッションIの振り返り

第４回（令和４年11月20日（日））
(1) グループ・ディスカッションIIの振り返り

第５回（令和４年11月27日（日））
(1) グループ・ディスカッションIIIの振り返り

第６回（令和４年12月４日（日））
(1) グループ・ディスカッションIVの振り返り

第７回（令和４年12月11日（日））
(1) グループ・ディスカッションVの振り返り
(2) 成果報告会に向けた準備

第８回（令和４年12月18日（日））
(1) 自己評価（DG別）について

第1回ファシリテーター会議(令和４年９月14日)

【ファシリテーター名簿】

	ディスカッション・トピック	氏名	性別	国名
1	教育	Aaron Grajo Laylo	男	フィリピン
2	災害と防災	Risye Dwiyani	女	インドネシア
3	起業（NGO/NPO含む）	Ari Yuda Laksmana	男	インドネシア
4	健康とウェルビーイング （メンタルヘルス含む）	Berzenn Urbi	男	フィリピン
5	情報とメディア	Jed Senthil K Jivaraju	男	シンガポール
6	日本及びASEANの経済	Pannaritsara Chuenjitrabhiramon	女	タイ
7	貧困と格差	Rahmat Hidayat HM	男	インドネシア
8	環境保護	Valy Phommachak	女	ラオス
9	ソフトパワーと青年の民間外交	皆川　佳也	女	日本